

学校だより NO.447
令和4年5月31日



品 濃

〈横浜の教育がめざす人づくり〉

自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人

〈学校教育目標〉

大好き自分 大好きみんな ともに創る品濃の子

- ・知 生きて働く知
- ・徳 豊かな心
- ・体 健やかな体
- ・公 公共心と社会参画
- ・開 未来を拓く志

横浜市立品濃小学校 電話 824-0651 FAX 826-2183

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinano/>

人とともに創り上げることを楽しむ

副校長 高橋 佐紀子

「印刷室はどこですか。」「1年生に学校を案内する時に必要なんです。」

手に画用紙を持ち、真剣な表情で2年生が2人、職員室に尋ねてきました。私は印刷がしたいのかと勘違いして、何枚印刷するのか、画用紙でよいのかと尋ねました。

「これ見せようよ。」「うん。」「でもなんて言う。」「うーん・・・」「いいや。これをそのまま見せようよ。」

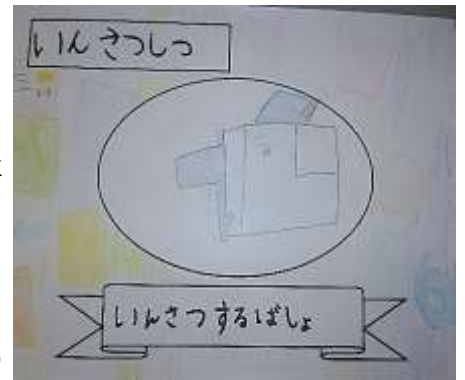
何と答えればよいのか、2人は顔を見合わせ戸惑っていましたが、2人で決心（それだけ必死な感じがしました）して、

「私たちはこれを貼りに来たんです。」

と、画用紙を見せながら、何に使うものなのか、2人で私に説明しました。

「ああ・・・ごめんなさい・・・勘違いしちゃった。印刷室の場所を1年生に教えるためにつくったものを、印刷室に張りに来たんだね。ごめんね。」

ところでこの絵、すごく上手に描いたね。」



2人は印刷室の扉に画用紙を貼り、にこにこしながら教室へ戻って行きました。画用紙には印刷機が中心に描かれています。見慣れない機器ばかりの

印刷室を示す絵は、きっと難しかったに違いありません。2人で話し合いながら、知恵を出し合いながら一生懸命につくり、出来上がった時は「やったね。」と喜びと楽しさを味わったことでしょう。つくっている時間の2人の様子が目に浮かびました。5月20日（金）には、校内を歩きながら、1年生に学校案内をしました。

人とともに創り上げることを楽しむ子どもたちの姿にたくさん出会うことができたのは、フレンドシップフェスティバル2022の学年演技です。今年度も、練習を重ねるごとに、かけ声と動きの調和、「パーランクー」や「なるこ」の音色が一つになって響く心地よさ、曲を体で感じながら表現することの楽しさ、時間と空間を共にした友だちと気持ちを一つにして本気で表現を創り上げていくことの充実感などを、心から楽しんでいる子どもたちの表情や姿に出会うことができました。

個性を生かして一人で試行錯誤しながら「創る力」を培うことは大切です。一方、学校生活の中では、多くの場面で人と影響し合い、そのときの環境や条件が重なって、創るものが変化していき、人も自分自身も成長し変化していきます。私たちは、子どもたちが互いの成長や変化を受け止め合い、認め合いながら、創ることに本気になる、とともに創り上げることを楽しむことができる資質を、学校教育目標「大好き自分 大好き みんな ともに創る品濃の子」につながる育成の視点のひとつとして大切に、今後も支援を続けていきます。

感染症予防対策を要する中での教育活動ですが、引き続き、保護者の皆様、地域の皆様、ご理解とご協力をお願いいたします。